



CDPキャピタルマーケットと 署名機関

DISCLOSURE INSIGHT ACTION
開示 分析 行動

2020年10月
シニアマネジャー
成田 恭子

CDP—グローバルな環境情報開示のプラットフォーム



CDPに署名



情報開示を促す「協働エンゲージメント」



CDPに関する数字



515+ 企業への投資家要請質問状送付に賛同頂いた署名機関数 (資産合計106兆米ドル、2020年)



2800+ 投資家要請質問書に回答した企業数 (2020年)



125+ サプライチェーンプログラムメンバー数 (購買力 4兆米ドル、2019年)



8,400+ 投資家要請+サプライチェーンを通してCDPに回答した企業合計 (2019年)



800+ 開示した都市数

2020年投資家要請質問書 : New This Year

要請ではなく「自主的」に開示した企業が増加

金融機関向け等、セクター別質問追加

新規の森林関連質問が追加

債券 (Fixed Income) 発行体に質問書を送付 (パイロット版)
(欧米の教育機関や公共事業体等を含む)

CDPの「唯一の無二の気候データ」を通じたパートナーシップ



SCIENCE
BASED
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION



RE 100



European Bank
for Reconstruction and Development



GLOBAL
CLIMATE
ACTION SUMMIT



Climate-KIC

WE MEAN BUSINESS

www.cdp.net | @CDP



署名機関のベネフィット

2020/2021年 署名機関のベネフィット

署名機関に登録すると:

- ▼ 投資家要請質問書の全回答データにアクセス可能
- ▼ 様々なデータセットが優遇レートで購入可能
- ▼ 協働エンゲージメントへの参加
- ▼ CDP主催のイベント・勉強会へ参加、各種報告書へのアクセス

⇒ 一般公開もありますが、署名機関限定も数多くあります。

(参考) 2020/2021年 署名機関のベネフィット (詳細)

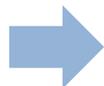
署名機関 標準版※	
TCFDに沿った産業規模の環境情報開示とエンゲージメントの促進	✓
環境問題に関し、企業とのエンゲージメントに対するコミットメントを広く一般に認知	✓
CDPの情報開示期間中(回答期間を含む)の定期的な開示状況の更新、CDPプログラムや活動に関して、最新情報をグローバルにカバーする投資家ニュースレター、および知見深まるウェビナー	✓
グローバル・ノンディスクロージャー・キャンペーンやSBT協働エンゲージメント等、CDP独自のエンゲージメント・イニシアティブへの参加	✓
ESG投資分析、アクティブオーナーシップ、企業開示、投資家コラボレーションに関連するPRI原則1-4を満たす支援	✓

署名機関 優遇レートにて有料で購入可能
MSCI ACWI および GDP の高排出企業サンプルが含まれる 5400 社以上のモデル化されたスコープ1、2、3の排出量データセット
クライメトリクス気候格付けの個別ポートフォリオレポート
数々の賞を受賞したインベスターリサーチレポート、
および新しい GDP 気温上昇スコア)

※「署名投資家」と「署名銀行」で標準版が異なります。

CDPデータ

CDPの署名機関※



- ▶ 投資家要請質問書への回答
→「非公開」も含め全ての回答・CDPスコアに アクセス可
- ▶ サプライチェーンプログラムを通じた質問書への回答
→「公開」情報にアクセス可

署名機関以外

(一般投資家、情報ベン
ダー、イニシアチブ、
教育機関等)



- ▶ 投資家要請、サプライチェーン回答
→「公開」情報のみアクセス可

※署名投資家と署名銀行は異なる体系となることにご注意下さい。

(参考) 署名機関が利用可能な代表的なデータ: 無料と有料

Dataset	Description	Companies	項目
気候変動 	[無料] 2019年の気候変動投資家要請質問書に回答した全ての企業のデータにアクセス	2600を超える企業	ガバナンス&戦略 リスク&機会 排出のマネジメント ターゲット&シナリオ分析 セクター別のモジュール
水 	[無料] 2019年に水の質問書に回答した全ての企業のデータにアクセス	800を超える企業	ガバナンス&戦略 リスク&機会 水の排出&取水メトリクス Basin-level (流域)のターゲット
森林 	[無料] 2019年に森林の質問書に回答した全ての企業のデータにアクセス	300を超える企業	ガバナンス&戦略 リスク&機会 コモディティベースのデータ(パーム油、大豆、木材、牛)
GHG排出データセット (フルバージョン)	[有料] MSCI ACWIおよび高排出企業が含まれる5500社以上の企業のモデル化されたスコープ1、2、3の排出量データセット	5700を超える企業	スコープ 1,2,3 企業の排出強度 (Emissions Intensities) モデル推計と報告ベースの排出量
CDP気温上昇スコアデータセット	[有料] 気温上昇スコアと排出量を含むデータセット	2850社	スコープ毎(スコープ1+2とスコープ1+2+3) 気温上昇スコアと時間軸を含む

CDPの署名機関向けリソース 1

排出量データセット



5400社を超える企業のモデル化されたスコープ1、2、3の排出量データセット

データセットと方法論の詳細については、こちらをご参照下さい。

cdp.net/en/investor/ghg-emissions-dataset

www.cdp.net | @CDP

CDP気温上昇スコア



個別企業の温室効果ガス排出削減目標を基にした 2800 のグローバル企業の気温上昇スコア

企業、投資ポートフォリオ、インデックスに活用

cdp.net/en/investor/temperature-ratings

クライメトリクス- ファンドの気候格付け

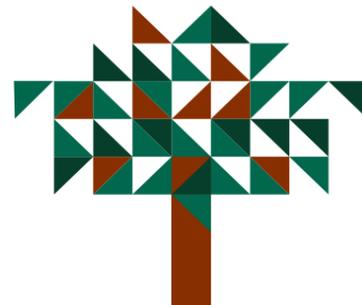


17000のファンドに対して気候格付けを付与

すべての投資家が情報に基づいた意思決定を行えるようにする

ファンド格付けはclimetrics-rating.orgで無料で検索可能

CDPフォレストチャンピオンズ



フォレスト関連のエンゲージメントを1対1で支援

CDPデータを活用し、KPIの設定、企業や投資家のベストプラクティスの紹介、参加者限定のインタラクティブウェビナー



CDPの署名機関向けリソース 2

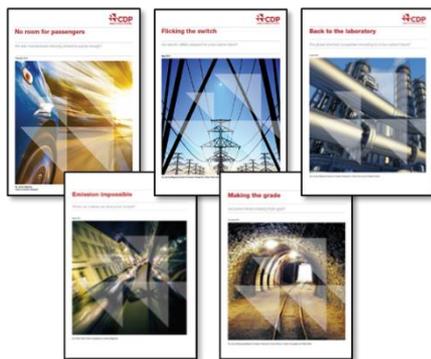
CDPインベスターリサーチ

- 署名機関のみがフルレポートにアクセス可能(有料)

受賞歴のあるCDPのセクターレポートは、市場で最もカスタマイズされたベストな環境データと洞察を投資家に提供することを目的としています。

レポートは、10のグローバルセクターをカバーし、それらのセクター内の主要企業が低炭素経済に移行するにあたりどのようなポジションにあるかを分析します。

詳細は、セクターリサーチ専用ページ(cdp.net/en/investor/sector-research)をご参照頂くか、CDPジャパンにお問い合わせ下さい。



(参考)2020年6月発行(空調・空冷セクターのランキング)

LT rank	Company ^(R)	Country	Market Cap		Transition risks rank	Transition opportunities rank	Climate governance & strategy rank
			US\$bn (as of May 2020)	Weighted rank			
1	Trane Technologies	USA	22	6.13	8	1	1
2	LG Electronics	South Korea	8	6.50	2	4	5
3	三菱電機	Japan	29	6.68	1	10	3
4	Samsung Electronics	South Korea	243	7.17	4	6	6
5	パナソニック	Japan	22	7.20	7	9	2
6	ダイキン工業s	Japan	43	7.39	10	2	4
7	Carrier ^(R)	USA	17	7.81	6	7	9
8	Electrolux	Sweden	5	8.34	3	17	8
9	Johnson Controls	USA	24	8.61	12	5	10
10	日立製作所	Japan	32	8.70	9	13	7
11	Lennox International	USA	8	9.03	5	15	12
12	三菱重工業	Japan	9	9.84	11	14	11
13	Haier	China	15	12.91	14	8	16
14	Gree	China	48	13.11	17	3	14
15	Midea Group	China	57	13.65	16	12	13
16	Hisense	China	1	13.69	13	16	17
17	Blue Star Ltd	India	0.6	14.54	18	11	15
18	Chigo ^(R)	China	0.05	15.02	15	18	18

Weighting 40% 30% 30%

Source: CDP

CDP 協働エンゲージメントのプラットフォーム

▼ CDP ノン・ディスクロージャー・キャンペーン (Non-Disclosure Campaign)

CDPのノン・ディスクロージャー・キャンペーンでは、投資家にCDPの質問書への開示を、積極的に求める機会を提供しており、毎年行われています。

このキャンペーンの目的は、CDPの開示要求に応えることを奨励することで、気候変動、森林減少、水の保全に関する企業の透明性をさらに高めることです。

詳細はこちらをご参照下さい。

cdp.net/en/investor/engage-with-companies/non-disclosure-campaign

▼ CDP SBT協働エンゲージメント (Science-Based Targets Campaign)

CDP SBT協働エンゲージメントは、CDPの署名機関が協働で気候問題に取り組むことにより、企業に対し科学に基づいた気候ターゲットを持つことを加速させるうえで、重要な役割を果たす機会となります。

このユニークな協働エンゲージメントは、これまでにCDPが試行錯誤の上構築したエンゲージメントのメカニズム、およびScience-Based Targets initiative (SBTi) の創設パートナー1つとしての経験に基づき、企業に気候科学に基づいた目標設定を促進します。

cdp.net/en/investor/engage-with-companies/cdp-science-based-targets-campaign

⇒ **2020年は、137の金融機関（資産合計20兆米）がサインアップ、1800の企業にSBTの設定を促進する書簡を送りました。**

うち、日本の機関投資家は4社が参加し、169の日本企業に送りました。

「ノンディスクロージャー」キャンペーン

- ▼ 前の年度にCDPの投資家要請質問書に回答しなかった企業（「ノンディスクロージャー」）への開示働きかけ
- ▼ 投資家が直接企業とエンゲージすることをCDPが調整
- ▼ CDPへの報告を通して透明性の向上を促そうとする投資家と一つになるCDPのキャンペーン



	参加 投資家数	書簡送付 企業数	エンゲージ メント 社数
2020年	105	1051	NA
2019年	88	707	644

- ・ 2020年度は105の署名機関がサインアップ

SBT協働エンゲージメント

- ▼ 賛同金融機関が、高排出企業に1.5°Cの科学に基づく排出削減目標の設定と、遅くとも2050年までの排出ネットゼロの達成を求める。
- ▼ 賛同金融機関が対象企業にSBTへコミット・設定を働きかけることで、同時に自身のポートフォリオのカーボンフットプリントの削減につなげる。
- ▼ 賛同金融機関の社名が掲載された書簡を対象企業に送る。
- ▼ サインアップ後の作業や企業とのやりとりはCDPとSBTiが行う。



	賛同 金融機関数	書簡送付 企業数	% MSCI ACWI カバレッジ
2020年	137	1898	48%

CDPのツールキット（まとめ）

知見を深める



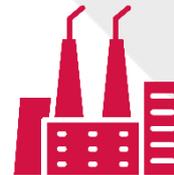
- CDPの各種レポート
- セミナー・ウェビナー
- ラウンドテーブル
- CDPインベスター・リサーチ
- フォレストチャンピオン

エンゲージメント



- CDPの質問送付
- ノン・ディスクロージャー・キャンペーン
- SBT協働エンゲージメント

ツール、報告



- CDP データ
- CDP スコア
- クライメトリクス気候格付け
- CDP 気温上昇スコア

お知らせ

- ◆ 署名機関限定のラウンドテーブルを企画予定です
- ◆ 署名機関の2020/2021新規登録・更新期間は：
2020年10月～2021年1月
⇒ 2021年2月に質問書を企業に送ります
- ◆ 署名は毎年更新（登録料は年1,475米ドル）
- ◆ 署名しても、報告等のオブリゲーション等はありません

◆ウェビナー・最新情報・お知らせはこちらを定期的にご覧ください。（随時最新情報が更新されます）
<https://www.cdp.net/ja/japan/disclosure#294bb844ddeb59567c057ca538e2c3da>

◇日本の株式投信に対するクライメトリクス格付け（上位：4と5リーフのみ）
<https://www.cdp.net/ja/japan/climetrics>

CDP事務局
japan@cdp.net

投資家関連のお問い合わせ
capitalmarkets.japan@cdp.net

03-6225-2232
東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル3F xLINK 大手町オフィス
<https://www.cdp.net/ja/japan>